

# 石岡まちなかの登録文化財マップ

⑨丁子屋(まち蔵藍):各種展示や土産品、駄菓子等の販売をしている観光施設です。コーヒー、抹茶、ジュース等が楽しめる喫茶コーナーがあり、定期的に 藍染め体験(要予約)も行っています。ひな祭り期間には大正時代～昭和時代のひな飾りや吊し籠などが展示されます。☎0299-23-8723

守木町郵便局



⑥十七屋履物店

←国道6号・土浦

⑩府中營(株)



北向観音

清凉寺

金刀比羅神社

⑧福島砂糖店

⑦久松商店

③きそば東京庵

平福寺

常光院

華園寺

①喫茶店四季

発行:石岡商工会議所  
監修:石岡観光協会

⑤栗山呉服店

駅からの目安:①喫茶店四季・300m(5分) ②森戸文四郎商店・450m(7分) ⑦久松商店・500m(8分)  
⑨丁子屋(まち蔵藍)・550m(9分) ⑩府中營・900m(15分) ⑪平松理容店・500m(8分)

登録文化財とは・・・平成8年の文化財保護法の一部改正によりスタートした建造物の登録制度です。建築後50年を経過し、「歴史的景観に寄与している」「デザインが時代や建造物の種類の特徴を示している」「優れた技術が用いられて再現することが容易でない」の基準にあてはまる住宅・事務所・社寺・橋・水門・トンネル・煙突などの建造物がその対象となります。外観を大きく変えなければ、レストランや資料館などの事業資産や観光資源として利用することが可能で、「活用しながら次の世代に伝えていく」ということを目的としています。

④すがや化粧品店



⑪平松理容店



②森戸文四郎商店



陣屋門

←常陸國總社宮

東耀寺

照光寺

本浄寺

いしおか  
イベント  
広場

図書館

まちかど情報セ  
ンター

中町通り

香丸通り

常陽銀行

筑波銀行

笠間→

茨城信用金庫

石岡商工会  
議所  
TEL0299-  
22-4181

石岡市観光案内所:

「豊かな自然と歴史の里いしおか」を内外に広くPRする拠点として市内の観光スポット、土産品、お食事処、宿泊施設等のご案内をしています。レンタサイクル有ります。☎0299(24)5001

コミュニティ  
センター  
サポートワン

石岡郵便局

←土浦



石岡駅

JR常磐線

水戸→

2023/2/9 作成

2023/10/12 改訂

# ①喫茶店四季

きつさてん しき

国府3-3-24



昭和5年頃に建てられた貸店舗。木造2階建ての看板建築。コリント様式風の柱頭飾りや屋根に立ち上げた煙突風の突起物など特異な造形を持つ。当初から貸店舗として建てられた数少ない貴重な建物です。

# ②森戸文四郎商店

もりとぶんしろう しょうてん

国府3-2-6



昭和5年頃に建てられた飼料店。木造2階建ての看板建築。柱のレリーフ、縦長の窓、褐色タイルなど全体にアールデコ調の外観は、正面を洋風の意匠で飾る看板建築の好例です。

# ③きそば東京庵

きそば とうきょうあん

国府3-3-16



昭和7年頃に建てられた蕎麦屋。木造2階建ての和風食堂建築。戦後、座敷部屋を取り払い、土間にテーブルと椅子を置いてお客様用の空間とした。数寄屋風の洒落た意匠は、この地域では珍しい。

# ④すがや化粧品店

すがや けしょうひんでん

国府3-5-1



昭和5年頃に建てられた雑貨店（現在は化粧品店）。木造2階建ての看板建築。屋号を冠したペディメント、コリント・イオニア様式風の柱頭飾りなど重厚な外観で、この地区における看板建築の秀逸なものの一つです。

# ⑤栗山呉服店

くりやま ごふくてん

国府3-4-25



昭和7年頃に建てられた呉服店。木造2階建ての商家建築。2階正面のガラス戸の瀟洒（しょうしゃ）な組子は、明治以降における日本建築の近代化の特徴をよく表しています。

# ⑥十七屋履物店

じゅうしちや はきものてん

国府3-4-22



昭和5年に建てられた履物屋。木造2階建ての看板建築。2階は持送風の柱頭飾りを中心にして縦長の連窓を左右に配置しています。昭和4年の大火災後この地区で最初に再建され、この地区における看板建築の先駆けとなった建物です。

# ⑦久松商店

ひさまつ しょうてん

国府3-4-21



昭和5年頃に建てられた化粧品・雑貨店。木造2階建ての看板建築。ドイツ下見板張りの正面外壁は、戦前、銅版が張られていました。昭和4年の大火後、この地区の店舗の再建に広く採用された看板建築の代表例です。

# ⑧福島屋砂糖店

ふくしまや さとうてん

国府3-4-20



昭和6年に建てられた砂糖問屋。木造2階建ての商家建築。土蔵造りの壁が、土壁漆喰塗りではなくコンクリートでできているのは大変珍しい。黒塗りの外壁が外観に重厚さを与えています。

# ⑨丁子屋(まち蔵藍)

ちようしや(まちくらあい)

国府3-5-6



江戸時代末期に建てられた染物屋。（現在は観光施設「まち蔵藍」）木造2階建ての商家建築。昭和4年の大火で焼失を免れた商家建築では、現存する唯一の建物です。大火以前の土蔵も残っています。

# ⑩府中菅(株)

ふちゅうほまれ

国府5-9-32



安政元年創業の造り酒屋。代表銘柄の「渡舟」(わたりぶね)は、幻の酒米渡船を原料米とした全国唯一の酒として知られています。主屋・長屋門・文庫蔵・穀蔵・仕込蔵・釜場・春屋(つきや)の7棟が登録されています。

# ⑪平松理容店

ひらまつ りようてん

府中2-7-20



昭和3年に建てられた理容店。木造2階建ての看板建築。三和土(たたき)に大鋸屑(おがくず)を混ぜた床は大変珍しいです。コリント様式風のアカンサスの葉の天蓋や理容鏡、理容椅子など、昭和4年の大火を免れた建築当初の姿がよく保たれています。

誰もが感じる

「懐かしさ」のたたずまいがそこにはあります。

・石岡市観光案内所

0299-24-5001

・まち蔵藍

0299-23-8723